



第一生命グループの 理念体系

グループ理念体系（Mission・Vision・Values）の共有により、グループ各社が、それぞれの地域や国で、生命保険の提供を中心に人々の安心で豊かな暮らしと地域社会の発展に貢献します。また、グループ戦略の共有により、各社がベクトルをあわせてグループ価値の最大化と持続的な成長を目指します。

一生涯のパートナー

By your side, for life

Mission

企業の存在意義

いちばん、
人を考える会社になる。

Thinking people first

Vision

中期的に目指す姿

グループ企業行動原則
(DSR 憲章)

Values

私たちが大切にする価値観

Mission グループミッション： 「一生涯のパートナー」

第一生命グループは、1902年、日本での創業以来、お客さま本位（お客さま第一）を経営の基本理念に据え、生命保険の提供を中心に、地域社会への貢献に努めてきました。これからも、お客さまとお客さまの大切な人々の“一生涯のパートナー”として、グループ各社が、それぞれの地域で、人々の安心で豊かな暮らしと地域社会の発展に貢献していきます。

Vision グループビジョン： 「いちばん、人を考える会社になる。」

いちばん、お客さまから支持される保険グループになるために、以下の4つの視点から誰よりも「人」を考える会社を目指していきます。

- いちばん、品質の高い会社
- いちばん、生産性の高い会社
- いちばん、従業員の活気あふれる会社
- いちばん、成長する期待の高い会社

Values グループバリュー： 第一生命グループ企業行動原則(DSR 憲章)

- | | |
|-------------------|--|
| 【お 客 さ ま 満 足】 | お客さまの“一生涯のパートナー”を目指し、お客さま満足を追求めた高い品質の商品・サービスを提供します。 |
| 【コミュニケーション】 | すべてのステークホルダーに対して説明責任を果たすとともに、いただいたご意見を真摯に受け止め、積極的に企業経営に反映します。 |
| 【コンプライアンス】 | 高い倫理観を持ち、あらゆる事業活動においてコンプライアンスを徹底します。また、プライバシーを尊重し、個人情報をはじめとする各種情報の保護・管理を徹底します。 |
| 【人 権 尊 重】 | 各国・各地域において、文化および慣習を尊重し、その発展に貢献する経営を行います。また、人権を尊重し、人権啓発に積極的に取り組みます。 |
| 【ダイバーシティ】 | 多様な人財が活躍できる働きがいのある職場環境を確保し、積極的な人財育成を行います。 |
| 【環 境 保 護】 | 地球環境保護を社会的責任と捉え、日常的かつ継続的に環境保護活動に取り組みます。 |
| 【社 会 貢 献】 | 「良き企業市民」として地域社会とともに発展することを目指し、社会貢献活動を行います。 |
| 【健 康 増 進】 | 地域の皆さまの健康増進に寄与する経営を行います。また、従業員の心と身体健康増進を図ります。 |
| 【持続的な
企業価値の創造】 | 以上の8つの原則、経営資源の有効活用・業務の生産性向上、財務基盤の維持・強化によって、持続的な企業価値の創造に取り組みます。 |



第一生命グループの概要

第一生命グループの事業領域と主なグループ会社



■国内生命保険事業

グループの中核事業として、さまざまなお客さまニーズに対応できるよう、最適な商品を最適なチャネルでお届けする3生保体制で展開しています。第一生命保険（以下第一生命）では、生涯設計デザイナーをはじめとした高い専門性をもつスタッフが、生命保険を通じた【確かな安心】と【充実した健康サポート】をお客さま一人おひとりにご提供しています。第一フロンティア生命保険（以下第一フロンティア生命）では、老後をサポートする貯蓄性商品を、金融機関を通じて販売しています。また、ネオファースト生命保険（以下ネオファースト生命）では、比較検討を望むお客さまニーズに対応するために、「分かりやすい差別化商品」を「簡単なお手続き」「ローコストオペレーション」で、金融機関や来店型保険ショップなどを通じて販売していきます。

■海外生命保険事業

米国、オーストラリア、ベトナム、インドネシア、インド、タイの6カ国にて海外生命保険事業を展開しています。本社・グループ経営本部を中心として、北米およびアジアパシフィック地域に設立した地域統括会社を通じ、経営管理態勢の高度化とグループとしての一層の価値創造に向けた取組みを推進しています。海外生命保険市場の高い成長性を取り込むべく、積極的に事業展開を進め、先進国市場および新興国市場においてバランスの取れた成長を推進していきます。

■アセットマネジメント事業

グループ成長戦略の一翼を担う事業として、生保事業との親和性が高く、成長が期待できるアセットマネジメント事業を国内外で展開しています。中核となる DIAM アセットマネジメントとジャナス（米国）の商品・ノウハウの相互供給、これら2社と第一生命・第一フロンティア生命をはじめとする国内外生保会社との連携によるグループシナジーの発揮、新規出資などによる事業拡大などの取組みを推進し、グループの利益貢献拡大に取り組んでいます。

■その他事業

当社グループのコンピューターシステムやソフトウェアの開発を担うシステム関連事業のほか、経済・金融に関する調査研究や情報の発信、金融技術の開発、コンサルティングなどを提供する調査・研究事業、お客さま向け書類の印刷や発送などを担う総務関連事業など、保険事業や資産運用関連事業に取り組んでいくうえで必要な事業を行っています。



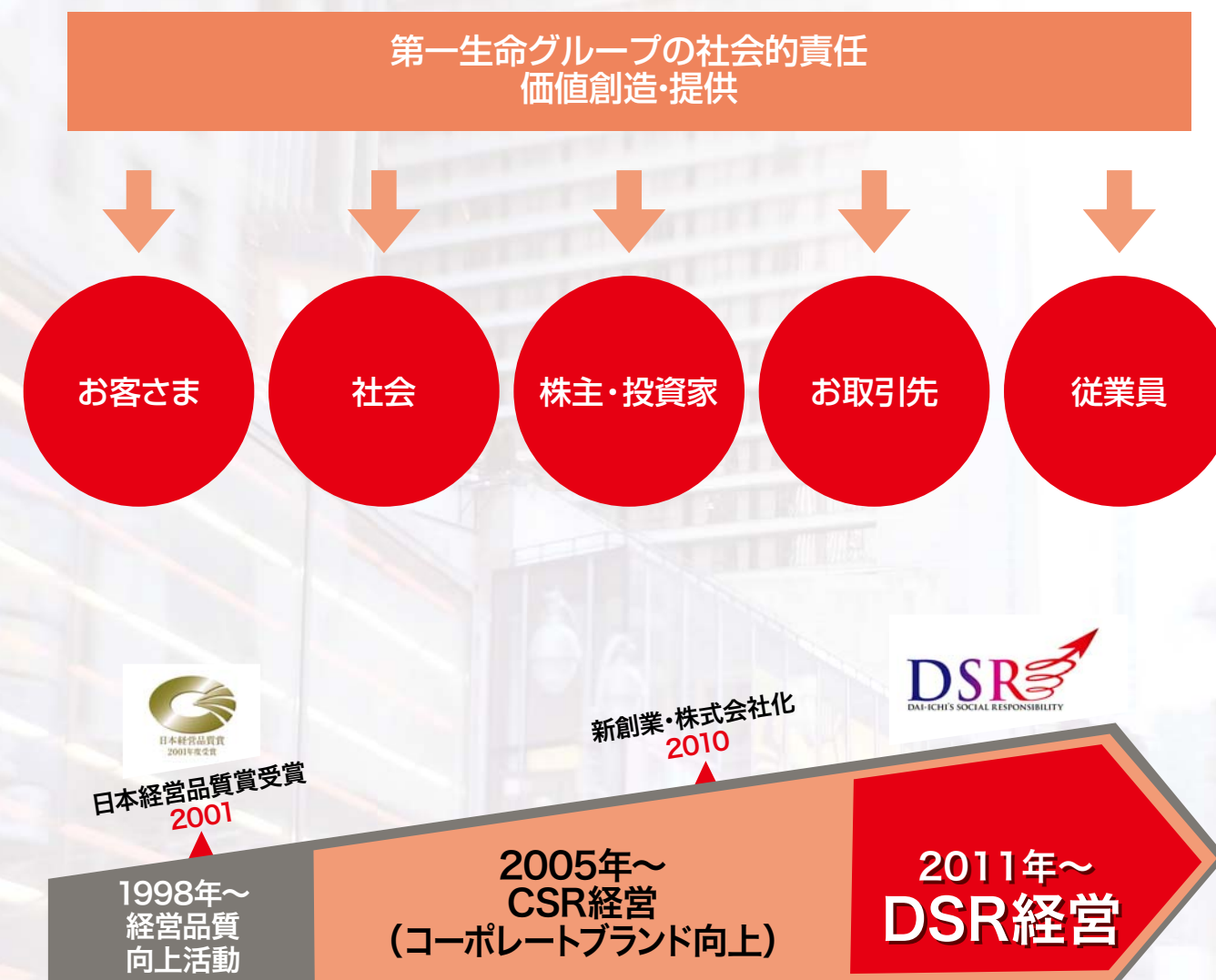
DSR経営とは

「DSR経営」とは、グループミッション「一生涯のパートナー／By your side, for life」を追求するために、あらゆる組織単位でPDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを回しながら経営品質の絶えざる向上を目指し、企業価値の向上を通じて全てのステークホルダーへの社会的責任を果たしていこうとする、第一生命独自の価値創造経営の枠組みです。

「DSR」とは、一般的なCSR(企業の社会的責任)という言葉の枠に留まらない当社独自の経営の枠組みについて、「DSR=Dai-ichi's Social Responsibility (第一生命グループの社会的責任)」と表現したものです。

こうした枠組みは、顧客の視点から経営を見直し、自己革新を通じて顧客の求める価値を創造し続ける組織を表彰する制度である「日本経営品質賞」の指針を参照しています。私たちは、経営品質を高める「経営品質向上活動」を1998年から経営計画の基幹戦略として取り組み、2001年には金融機関として初めて日本経営品質賞を受賞しました。

受賞後も、取り組みの進化に合わせて「CSR経営」、そして、株式上場を機に、当社らしさを更に発揮していくために「DSR経営」へと、一貫して経営品質の向上に取り組んできました。私たちは、これからも「DSR経営」を絶え間なく進化させながら、グループミッション「一生涯のパートナー／By your side, for life」を追求していきます。



安心の最高峰を、 地域へ、世界へ



2015年7月
代表取締役社長

渡 邊 光 一 郎

平素より、私ども第一生命グループをお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

1902年に日本初の相互会社としてスタートした当社は、世紀を超える長い歩みの中で、いつの時代にあっても、「お客さま第一主義」という経営理念を貫くために、「創業より受け継いできた大切なもの」を守りつつも、時代や環境の変化の中で幾多の困難に対峙し、「変えるべきことは変える」という変革に挑んできました。

第一生命の価値創造経営 ～ DSR 経営～

私たちは、グループミッション「一生涯のパートナー」であり続けるために、DSR 経営の実践を通じて、その実現に向け取り組んでいます。

「DSR」とは、一般的な CSR（企業の社会的責任）の枠に留まらない独自の取組みとして、第一生命の「D」を頭文字として「DSR = Dai-ichi's Social Responsibility（第一生命グループの社会的責任）」と表現したものです。それは、生命保険会社としての社会的使命を果たしていくことはもちろんのこと、本業を通じて世界が抱える諸課題に対し

この理念は、2010年の株式会社化を経て、海外を含む事業展開の拡大・成長を続ける今も変わることはありません。そして、グループミッションを「一生涯のパートナー／By your side, for life」と定め、グループ各社がそれぞれの地域でステークホルダーの皆さまに寄り添い、「安心で豊かな暮らし」と「地域社会の発展」に貢献していくことこそが、私たちの存在意義であると位置付け、グループ全体でこれを共有しています。

でも果敢に挑戦していく会社の有り様を表しています。

この DSR 経営の考え方は、まさに、上場企業としての「コーポレートガバナンス・コード」や機関投資家としての「スチュワードシップ・コード」の趣旨とも合致するものであります。私たちは、DSR 経営を進化させながら、社会の一員（企業市民）として、企業としての成長を果たしていくとともに、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいきます。

前中期経営計画「Action D」の振り返り

2013年度からの中期経営計画「Action D」では、DSR 経営による、グループを挙げた更なる飛躍に挑戦しました。価値創造と持続的成長を目指すあらゆる取組みを着実に遂行した結果、グループ連結業績は増収増益を確保したほか、連結の経常収益・経常利益・当期純利益は2015年3月期に上場来最高実績となり、各経営目標も1年前倒しでほぼ全項目を達成することができました。「Action D」での財務業績をはじめとしたこれらの成果は、まさに「DSR 経営」の実践による結果と考えています。

そこで、国内生命保険事業を例に、その取組みをいくつかご紹介いたします。

まず一点目は、社会保障制度を補完する役割を担う企業としての取組みです。少子高齢化の進展に伴い、健全な社会保障制度の維持のためには、社会的負担の軽減と国民の健康維持が課題となっています。このような課題への対応として、当社グループでは、「一生涯のパートナー With You プロジェクト」を掲げ、生命保険としての機能をさらに高めることによる「確かな安心」と、お客さまの

健康の増進に寄与する「充実した健康サポート」を独自の提供価値と位置付け、取組みを強化してきました。新商品の投入や、さまざまな接点を通じた高品質のコンサルティングなど、当社の強みを活かした「確かな安心」と、各種医療機関とのネットワークを活用した医療・健康情報の提供サービスや、自治体との連携によるがん予防・健康啓発活動の展開などを通じた「充実した健康サポート」の双方をご提供することで、お客さまの保障に対する関心・ニーズの喚起や、お客さま満足度の向上にも繋がり、国内生命保険市場での堅調な業績を支える礎にもなりました。

二点目は、成長市場への取組みです。シニア層を中心とした貯蓄ニーズの高まりに伴い、国内貯蓄性商品市場は今後も成長が期待されています。第一フロンティア生命は 2014 年度、金融機関を通じた貯蓄性商品の販売において創業来最高の新契約実績となり、窓販専業会社における新契約実績のシェアトップを維持しています。この結果は、窓販事業を第一生命本体で行うのではなく、同社を別途設立して機動的に対応することにより、貯蓄性商品市場のお客さまのニーズにマッチした商品をタイムリーに提供し続けてきた戦略が奏功したものとと言えます。

新中期経営計画「D-Ambitious」のスタート

「Action D」は、各戦略の遂行を通じて、国内外におけるグループ事業の更なる成長に向けた確固たる基盤を構築した期間であったと言えます。今後はその基盤をもとに、成長を加速するステージに入ります。

当社グループは、中期経営計画を刷新し、2015-2017 年度の新中期経営計画「D-Ambitious／グループを挙げた持続的価値創造の実現」をスタートさせました。

三点目は、ライフスタイルの多様化に対応する取組みです。近年、自ら保険商品の比較検討を望まれるお客さまが増加しています。このようなお客さまのニーズに合わせた商品の提供に向け、2014 年に損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命を完全子会社化し、同年 11 月新たにネオファースト生命として再スタートしました。同社は、2015 年 8 月中旬より、疾病や入院などに備えるための魅力ある新たな保険などを金融機関・保険ショップを通じて提供する予定です。

海外生命保険事業でも、グループ各社が各国市場における強みを発揮して着実に成長を遂げるとともに、米国プロテクティブの完全子会社化などを通じ、グループの利益成長を支える基盤が構築された事は大きな成果と言えます。また、資産運用事業・アセットマネジメント事業においても、それぞれの事業戦略に則り、その特性に応じて企業・機関投資家としての社会的責任を果たしつつ、グループの成長に貢献してきました。

このように、当社グループは総力を挙げて DSR 経営の実践、すなわち全てのステークホルダーの皆さまに対する新たな価値創造の取組みを通じて、「Action D」における成長をお示しすることができたと考えています。

計画名称には、DSR 経営の一層の進化を通じ、グループの更なる成長加速とこれまでにない水準への企業価値の向上を積極果敢に目指す私たちの意志を込めて、“Ambitious”という言葉を用いています。

具体的には、成長戦略の「3つの成長エンジン」である国内生命保険事業、海外生命保険事業、資産運用・アセットマネジメント事業におけるそれぞれの強みを強化するとともに、国内外のグルー

プ各社が互いに学びあうことを通じて発揮されるシナジーによって、お客さまに選ばれ続け、地域や社会に評価される保険グループに成長していきます。その結果として、経営目標である連結利益の飛躍的な向上、グローバル規制を見据えた資本水準の確保、ステークホルダーの皆さまの期待に応える一段高い還元水準の実現などを果たしていきます。

加えて、2016 年 10 月に予定している持株会社体制への移行^{※1}や、職員一人ひとりの個性を活かし活力ある組織を作るダイバーシティ＆インクルージョン^{※2}の国内外における更なる推進などを通じて、グローバルな事業展開を支える態勢の整備にも取り組んでいきます。

※1. 持株会社体制への移行にあたっては、当局許認可と株主総会での承認などが必要となります。
※2. 人財の多様性（ダイバーシティ）を尊重し、これを互いに受容（インクルージョン）する当社の取組みです。

更に、当社グループの成長には、日本をはじめ展開先各国における社会の発展と成長がきわめて重要な要素となることから、私たちも事業を通じて、それぞれの国における「地域社会の発展」と、そこに住まう皆さまの「安心で豊かな暮らし」に寄与していかなければなりません。

日本を例にとりますと、少子高齢化をはじめとするさまざまな社会的課題を克服し、わが国が持続的な成長へと歩みを進めていくため、私たちも生命保険事業などを通じて、社会的課題の解決に向けて貢献を続けていきます。

また、海外のグループ各社も、「By your side, for life」が示す理念を共有し、生命保険その他の事業を通じて社会的責任を果たしていくことで、それぞれの地域の成長や人々の生活に貢献し、自らも確固たる成長を実現していくことを目指します。

「D-Ambitious」では、このように DSR 経営に更に磨きをかけ、グローバルにその取組みを拡げていくことによって、持続的な価値の創造とグローバル保険グループへの成長を目指していきます。

■「一生涯のパートナー With You プロジェクト」の更なる充実

成長戦略の一例として、メインマーケットである国内市場における取組みを紹介させていただきます。

当社グループは、国内における提供価値である「確かな安心」と「充実した健康サポート」をより多くのお客さまにお届けし、更にその品質を高めていくために、「一生涯のパートナー With You プロジェクト」の更なる充実に取り組みます。

まず、第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命による国内 3 生保体制がスタートし、お客さまに対して、3 社それぞれが競争力の高い商品、サービスをスピーディーに提供していく体制が整います。最適な商品を最適なチャネルでお届けすることで、さまざまなお客さまのニーズに対応します。

また、高品質なコンサルティングをより多くのお客さまに提供するための取組みも強化します。第一に、これまで接点を持ちにくかったお客さまへのアフターサービスやコンサルティングを提供する専門職として「カスタマーコンサルタント」を新規に配置し、2015 年 4 月より活動を本格化させています。第二に、都市部のオフィスや官公庁でのコンサルティングに特化した「総合営業職」を業界トップ水準の 2,000 名規模へ拡充し、主要都市圏に展開していきます。第三に、生涯設計デザイナーについては、育成期間を従来の 2 年間から 5 年間へ延長し、高いコンサルティング力を通じてお客さまのお役に立てる人財を多数育成します。

このような取組みに加え、社会における存在感が増し、生き方も多様化しているシニア層のお客さまに対する「確かな安心」と「充実した健康サポート」を高いレベルでお届けするために、昨年発表した「セカンドライフ生涯設計応援宣言」を引き続き展開し、シニア層のお客さまからも更に多くのご支持をいただけるよう、その取組みを一層充実させていきます。

おわりに ～安心の最高峰を、地域へ、世界へ～

今年度、当社グループは、新中期経営計画「D-Ambitious」のスタートにあわせ、2020年に目指す姿として新たな中長期ビジョン「安心の最高峰を、地域へ、世界へ」を掲げました。これは、私たちが事業を展開する全ての国、地域社会において、最も信頼され、最もお役に立てる「一生涯のパートナー」として、世界中の皆さまから選ばれ続ける保険グループとなることを宣言したものです。

当社グループは、この中長期ビジョンを実現していくために、今後も総力を挙げてお客さまをはじめ、株主・投資家ならびに当社グループに関わる全てのステークホルダーの皆さまにその価値を提供していきます。

今後ともお引き立て賜りますよう、お願い申し上げます。

